

教科書では、 学べないことも。

宇宙のまち大樹町で

唯一の高校が大樹高校です。

全校生徒、約100人。

ふつうの子はひとりもいません。

全員が特別で、たったひとりの存在です。

いま、世の中が大きく変化しています。

これまであたりまえだったものが

みなさんが卒業するころには

新しくなっているかも知れません。

だからこそ私たちは、

人間としての「土台」を養う学びを大切にしています。

勉強や、部活や、就職のこと。

ひとりひとり違う夢や目標に向かうための、

助けになる力を身につけてほしいのです。

先生が教えるだけではありません。

地域で活躍する先輩たちも、

ふたつとない豊かな自然も、

このまちの全部があなたの頼れる教材です。

これから先の人生で、きっと何度も思い出す。

そんな3年間があなたを待っています。



令和6年(2024年)年度「新時代に対応した高等学校改革推進事業指定校発表会

令和6年(2024年)9月26日(木)北海道大樹高等学校

1 北海道大樹高等学校の基本情報

大樹町にある創立76年の唯一の高校



大樹町について

人口: 5,307人(令和6年7月現在)

位置: 東は太平洋、西は日高山脈に接し、
中央部は広大な十勝平野

アクセス: 帯広空港から車で40分程度
帯広市から車で50分程度

産業:

○農業中心に漁業、林業を基幹産業として発展

○1980年代から、官民一体となって「宇宙のまちづくり」を推進

・町内の「北海道スペースポート(HOSPO)」で、JAXAをはじめとして、民間企業や大学等により様々な実験が実施

・宇宙の総合インフラ会社のインターステラテクノロジーズなど企業が立地



町内の「北海道スペースポート(HOSPO)」



道の駅に展示されている民間初の打上げに成功したロケットMOMO



国道沿い設置の「北海道大樹高等学校活性化推進協議会」による看板

大樹高校入学者数市町村別実績

町村名	区分	R4	R5	R6
大樹町	中学卒業数	44	44	47
	地元進学率	34.1%	45.5%	40.4%
	高校入学者	15	20	19
忠類地区	高校入学者	4	3	1
更別村		2	4	1
中札内村		4	5	3
広尾町		1	1	0
その他		1	0	1
大樹高校入学者計		27 (現3学年)	33 (現2学年)	25 (現1学年)
クラス数	3年	1	1	1
	2年	1	1	1
	1年	1	1	1

2 特色ある教育内容① 概要

共生

共創

令和6年度（2024年度）の指導上の重点目標

1 「共生」と「共創」の実現を目指し、地域と協働した学校づくりを推進する。

2 実効的なPDCAサイクルを踏まえた教育活動及び主体的・対話的で深い学びのある授業により、自ら考え、主体的に取り組む生徒の育成に努める。

スクールポリシー

大樹学 Plus

「総合的な探究の時間」における小・中学校の
「大樹学」にPlusして実施する探究的な学習

- ☆ 1年生…インターンシップを中心に社会と自分との関わりを探究し、プロセス（情報収集、整理、分析、まとめ、表現）の土台を構築
- ☆ 2年生…台湾見学旅行を核とした異文化体験による、国際理解、多様性・多文化共生社会の理解を深化
- ☆ 3年生…町活性化プロジェクト（地域探究学習）及び高校生議会に参加し、課題解決能力や主体的な社会参画意識・郷土愛を醸成

大樹高STEAM

高大連携や地域航空宇宙産業などと連携した教科横断的な学び

- ☆ 室蘭工業大学と提携した、小・中学校における実践を踏まえた体験的なモノづくりの出前授業による課題発見・解決する思考（デザイン思考）の育成
- ☆ 航空宇宙産業関連企業と協働した情報分野に関する出前授業による目的までの効率的なルートを考え、試行錯誤しながら最適ルートを導く思考（プログラミング思考）の育成

T-Plus

(Taiki Personal level up seeking)
進路実現に向けた
手厚いサポート

- ☆ 進学講習等
- ☆ 就職面接指導等
- ☆ スタディサプリ

大樹スタンダード 生徒が学びたくなる授業づくり

- ☆ 誰もがわかる授業づくり、授業の環境づくり
- ☆ 指導と評価の一体化による授業改善
- ☆ 各教科における協働的な学び
- ☆ コミュニケーション・スキル・トレーニング

参画

支援

- ☆ 入学時諸費用
通学費助成
- ☆ ICT機器貸与
- ☆ 資格試験検定
試験費用助成等

コーディネーター



コンソーシアム

支援

大樹町

恵まれた豊かな自然と最新の航空宇宙産業を誘致した町づくり

町議会、役場、教育委員会、大樹高校振興会、大樹高校活性化推進協議会・ワーキンググループ、学校運営協議会、小中高管理職連絡会議、小中高連携教育推進委員会など

インターステラテクノロジズ、大樹町商工会、地域農業関係者、漁業関係者、観光関係者、地域おこし協力隊、社会福祉協議会など

室蘭工業大学・JAXA・JICAなど



特徴的な取組

科目	1 年												2 年												3 年											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
総合的な探究の時間	探究活動の基礎	職業・学問の課題研究	インターンシップに係る座談会	インターンシップに係る探究的な学び									自己分析	台湾に係る課題設定	台湾見学旅行に係るまとの、報告会準備、報告会	台湾見学旅行に係るの論文形式のまとの	大樹町議会傍聴	ライフプラン作成	高校生議会準備、高校生議会	振り返り																
地域デザイン													町の仕事の調査・課題設定（福祉・教育、第1次産業、宇宙関連、商業・観光）	大樹町の課題について、台湾の大学生へのプレゼン準備	分野別グループ探究（前期で設定した課題について、調査、フィールドワーク、まとの、報告）	個人探究における課題設定	個人探究（調査、フィールドワーク、中間まとの、追加調査、報告会準備）																			

2 特色ある教育内容②-2 「総合的な探究の時間」と学校設定科目「地域デザイン」全体計画

「キャリアデザイン」全体計画

学校として育成を目指す資質・能力に関する方針					1 共生 2 共創 3 共学と探究する力を持ち、主体的に地域共創へ参画し、新たな価値を創造していく生徒				
1 学年（1単位）					2 学年（1単位）				
3 学年（1単位）					3 学年（1単位）				
育成を目指す資質・能力					①課題発見・課題解決能力 ②自己探究力 ③キャリアプランニング能力				
目標					①勤労や職業についての探究活動と おいて、課題発見・課題解決の手法を身に付ける。 ②インターンシップについて活動の成果をまとめて発表する力を身に付ける。 ③自身の興味・関心と、勤労や職業との関わりを見つめようとする。				
目標					①文化や価値観についての探究活動と おいて、課題発見・課題解決の手法を身に付ける。 ②台湾見学旅行について活動の成果をまとめて発表する力を身に付ける。 ③文化や価値観の多様性に触れ、自己理解を深めようとする。				
目標					①自身の進路実現のために、身に付けた課題発見・課題解決能力を活かすことができる。 ②進路活動において、志望理由や自身の取組の成果を整理して発信する力を身に付ける。 ③高校卒業後の自身の立場や役割を踏まえて、社会への貢献方法を考えようとする。				
月日	内容	時間	内容	時間	月日	内容	時間	内容	時間
4月第2週～	オリエンテーション	1	オリエンテーション	1	4月第2週～	オリエンテーション	1	オリエンテーション	1
4月第3週～			自己分析 (自分の興味・関心に関付く)	2	4月第3週～			個人探究(事前調査)	2
4月第4週～			自己分析 (自分の興味・関心に関付く)	2	4月第4週～			個人探究(事前調査)	2
5月第1週～	キャリアデザイン入門	2	自己分析 (自分の興味・関心に関付く)	2	5月第1週～				
5月第2週～	キャリアデザイン入門 探究活動とは	2	自己分析 (自分の興味・関心に関付く)	2	5月第2週～			個人探究(フィールドワーク・まとめ)	6
5月第3週～	キャリアデザイン入門 プレゼンテーションとは	3			5月第3週～			個人探究(中間発表会)	2
5月第4週～	キャリアデザイン 発表練習・発表	2			5月第4週～				
5月第5週～					5月第5週～			個人探究(追加調査)	2
6月第1週～			大樹町蔵古見学 一般質問作成	3	6月第1週～			個人探究(追加調査)	2
6月第2週～					6月第2週～			個人探究(追加調査)	2
6月第3週～					6月第3週～			個人探究(報告会準備)	2
6月第4週～			進路別自己探求 (進路強化研修)	8	6月第4週～			個人探究(報告会準備)	2
7月第1週～					7月第1週～			探究成果発表会参加	4
7月第2週～					7月第2週～			個人探究(報告会準備)	2
7月第3週～	インターンシップ説明	1			7月第3週～			探究成果発表会・振り返り	6
7月第4週～	職業座談会	2			7月第4週～				
8月第3週～					8月第3週～			大樹町の商業・観光(事前学習)	2
8月第4週～					8月第4週～			大樹町の商業・観光(見学・まとめ)	6
8月第5週～			高校生議会準備 (一般質問調査作成) 本校生議会の準備 (一般質問調査作成)	3	8月第5週～				
9月第1週～				2	9月第1週～				
9月第2週～			台湾見学旅行事前学習 (課題設定・情報収集)	2	9月第2週～			大樹区・蔵守大学との交流会準備	2
9月第3週～			台湾見学旅行事前学習 (課題設定・情報収集)	2	9月第3週～			大樹区・蔵守大学との交流会準備	2
9月第4週～			台湾見学旅行事前学習 (課題設定・情報収集)	2	9月第4週～				
10月第1週～			台湾見学旅行事前学習 (課題設定・情報収集)	2	10月第1週～			大樹区・蔵守大学との交流会準備	2
10月第2週～	インターンシップ課題設定	2		2	10月第2週～				
10月第3週～	インターンシップ課題設定	2		6	10月第3週～				
10月第4週～			台湾見学旅行まとめ	3	10月第4週～				
10月第5週～			台湾見学旅行まとめ	2	10月第5週～				
11月第1週～	インターンシップ	12	台湾見学旅行まとめ	2	11月第1週～				
11月第2週～	インターンシップまとめ	5	台湾見学旅行	4	11月第2週～				
11月第3週～	見学旅行報告会参加	2			11月第3週～			分野別グループ探究(課題設定・事前調査)	2
11月第4週～	発表練習・報告会	3			11月第4週～			分野別グループ探究(課題設定・事前調査)	2
12月第1週～					12月第1週～			分野別グループ探究(課題設定・事前調査)	2
12月第2週～					12月第2週～			分野別グループ探究(課題設定・事前調査)	2
12月第3週～					12月第3週～			分野別グループ探究(課題設定・事前調査)	2
1月第3週～					1月第3週～			分野別グループ探究(課題設定・事前調査)	2
1月第4週～					1月第4週～			分野別グループ探究(フィールドワーク・まとめ)	6
1月第5週～			論文作成・発表会	2	1月第5週～			分野別グループ探究(報告会準備)	4
2月第1週～			論文作成・発表会	2	2月第1週～			分野別グループ探究(報告会・振り返り)	4
2月第2週～			論文作成・発表会	2	2月第2週～				
2月第3週～					2月第3週～				
2月第4週～					2月第4週～				
3月第1週～					3月第1週～				
3月第2週～			進路活動体験講話	1	3月第2週～			個人探究(課題設定・活動計画作成)	2
3月第3週～			進路活動体験講話	1	3月第3週～			個人探究(課題設定・活動計画作成)	2
合計		40		35	合計				30

「地域デザイン」全体計画

学校として育成を目指す資質・能力に関する方針					1 共生 2 共創 3 共学と探究する力を持ち、主体的に地域共創へ参画し、新たな価値を創造していく生徒				
1 学年（1単位）					2 学年（2単位）				
3 学年（1単位）					3 学年（1単位）				
育成を目指す資質・能力					1 共生 ①自己と他者を大切にすること ②他者と協働する力 ③地域を支える力				
目標					2 共創 ①自ら学ぶ力 ②探究する力 ③主体的に他者と地域に参画する力 ④価値を見出したり価値付けたり価値を創造する力				
目標					1 他者と協働しながら地域の課題を把握し、課題の解決に向けて考え、実行・検証・改善を繰り返す。 2 他者と協働しながら地域の課題を把握し、課題の解決に向けて考え、実行・検証・改善を繰り返す。 3 地域の課題解決に向けた取組を校内外で発信し、地域の発展・活性化に貢献する。				
月日	内容	時間	内容	時間	月日	内容	時間	内容	時間
4月第2週～	オリエンテーション	1	オリエンテーション	1	4月第2週～				
4月第3週～			大樹町の福祉・教育(事前学習)	2	4月第3週～			個人探究(事前調査)	2
4月第4週～			大樹町の福祉・教育(見学・まとめ)	6	4月第4週～			個人探究(事前調査)	2
5月第1週～					5月第1週～				
5月第2週～					5月第2週～			個人探究(フィールドワーク・まとめ)	6
5月第3週～					5月第3週～			個人探究(中間発表会)	2
5月第4週～					5月第4週～				
5月第5週～			大樹町の商業・漁業・林業(事前学習)	2	5月第5週～			個人探究(追加調査)	2
6月第1週～			大樹町の商業・漁業・林業(見学・まとめ)	6	6月第1週～			個人探究(追加調査)	2
6月第2週～			大樹町の宇宙・科学技術(事前学習)	2	6月第2週～			個人探究(追加調査)	2
6月第3週～			大樹町の宇宙・科学技術(見学・まとめ)	6	6月第3週～			個人探究(報告会準備)	2
6月第4週～					6月第4週～			個人探究(報告会準備)	2
7月第1週～					7月第1週～			探究成果発表会参加	4
7月第2週～					7月第2週～			個人探究(報告会準備)	2
7月第3週～			探究成果発表会参加	4	7月第3週～			探究成果発表会・振り返り	6
7月第4週～					7月第4週～				
8月第3週～			大樹町の商業・観光(事前学習)	2	8月第3週～			大樹町の商業・観光(事前学習)	2
8月第4週～			大樹町の商業・観光(見学・まとめ)	6	8月第4週～			大樹町の商業・観光(見学・まとめ)	6
8月第5週～					8月第5週～				
9月第1週～					9月第1週～				
9月第2週～					9月第2週～				
9月第3週～			大樹区・蔵守大学との交流会準備	2	9月第3週～			大樹区・蔵守大学との交流会準備	2
9月第4週～			大樹区・蔵守大学との交流会準備	2	9月第4週～				
10月第1週～			大樹区・蔵守大学との交流会準備	2	10月第1週～			大樹区・蔵守大学との交流会準備	2
10月第2週～					10月第2週～				
10月第3週～					10月第3週～				
10月第4週～					10月第4週～				
10月第5週～					10月第5週～				
11月第1週～					11月第1週～				
11月第2週～					11月第2週～				
11月第3週～					11月第3週～				
11月第4週～					11月第4週～				
12月第1週～					12月第1週～			分野別グループ探究(課題設定・事前調査)	2
12月第2週～					12月第2週～			分野別グループ探究(課題設定・事前調査)	2
12月第3週～					12月第3週～			分野別グループ探究(課題設定・事前調査)	2
1月第3週～					1月第3週～			分野別グループ探究(課題設定・事前調査)	2
1月第4週～					1月第4週～			分野別グループ探究(フィールドワーク・まとめ)	6
1月第5週～					1月第5週～			分野別グループ探究(報告会準備)	4
2月第1週～					2月第1週～			分野別グループ探究(報告会・振り返り)	4
2月第2週～					2月第2週～				
2月第3週～					2月第3週～				
2月第4週～					2月第4週～				
3月第1週～					3月第1週～				
3月第2週～					3月第2週～			個人探究(課題設定・活動計画作成)	2
3月第3週～					3月第3週～			個人探究(課題設定・活動計画作成)	2
合計					合計				30

2 特色ある教育内容③ 探究学習の実践例

TAIKI HIGH SCHOOL

探究成果 発表会

7/18 (木)

タイムスケジュールとテーマ↓

10:05-11:00

1. 学生が気軽に乗れるバスをつくりたい
2. 多くの観光客に行ってみようと思われ
まちづくりをするには?
3. 18歳以下の遊び場について
4. 移住者を増やすためには?
5. 子どもたちの土日の移動手段

11:10-12:15

6. 大樹町の福祉を充実させたい
7. 道の駅の魅力を増やしたい!!
8. 晩成温泉にもっと来てもらいたい!
9. 安くて質の良い給食を提供するには
10. 子どもと一緒にMovingInn!
11. ジェンダー(LGBTQ)への偏見や差別を
なくすには?



発表者と発表内容

1. 学生が気軽に乗れるバスをつくりたい 発表者: 川股 愛瑠奈・三谷 航大・山崎 永遠

帯広に行くためのバスの本数が少なく金額も高校生には高い、という課題意識から、町担当者との意見交換を経て、乗り合いタクシーの可能性を検証しました。

2. 多くの観光客に行ってみようと思われまちづくりをするには? 発表者: 小原 弥生・松橋 杏名

大樹町のお祭りを盛り上げる具体策や、町の花であるコスモスを目にする機会を増やす施策を考え、実現可能性を検証しました。今後のアクションについてもお楽しみに!

この発表会は

大樹高校3年生の『総合的な探究の時間』の成果発表会です。生徒がみなさんから見たり、聞いたり、自分たちで検証した内容をもとに、自身の考えの変化や未来への提案など、各々の探究成果を発表いたします。

日時: 7月18日(木)

9:45 開場

10:00 成果発表会スタート

12:20 終了予定

※終了時間は前後する可能性があります

場所: 大樹高校 体育館

- お時間になりましたら、東側の職員玄関よりお入りください。体育館入り口で配名をお願いします。
- 休職が働けない方は参加をご遠慮いただく場合がございます。



発表者と発表内容

3. 18歳以下の遊び場について

発表者: 廣瀬 結菜・横山 孝也

昨年度先輩のテーマを引き継ぎ、子どもの遊び場について検証しました。今年度は特に子育て世代からの希望があった室内の遊び場について、子育て世代の方々とディスカッションを通じて具体的な実現方法を検討しました。

4. 移住者を増やすためには?

発表者: 近藤 朝矢・坂本 大陽

大樹町の移住者を増やすことをテーマに、移住コーディネーターの方から町の取り組みを聞き、移住者が増えている町との比較検証を行いました。

5. 子どもたちの土日の移動手段

発表者: 太田 皓貴

普段スクールバスを利用しているが、土日の移動手段がないことに課題を感じ、スクールバスを利用している小・中学生にアンケートをとりました。土日の移動手段がないことで習い事などを諦めたことがあるかどうか、また土日にバスがあるとしたらどのように利用したいかなどを調査しました。

6. 大樹町の福祉を充実させたい

発表者: 辻 奈成・竹田 愛菜

理学療法士を目指す中で、リハビリを必要とする人だけでなく、ケガの予防などで理学療法士が活躍できる可能性を探りました。また、大樹町の子育て支援を充実させるため、他町村の活動について調べ大樹町との比較を行いました。

7. 道の駅の魅力を増やしたい!!

発表者: 豊田 碧・中田 健太・林 典行

道の駅を人が集まる場所にするために、道の駅で提供できる飲食メニューについて検討しました。実際にある設備でできることをふまえ、友好姉妹都市である台湾を感じられるメニューなどを検証しました。

8. 晩成温泉にもっと来てもらいたい!

発表者: 山田 侑奈・押切 マオ・寺嶋 かこ

大樹町の観光スポットである晩成温泉の知名度をあげる施策として、道の駅で販売している晩成温泉の素を使った足湯体験を企画し検証しました。

9. 安くて質の良い給食を提供するには

発表者: 小室 茉央・杉森 雛梨

安くて質の良い給食を実現することをテーマに、給食の担当者の方に現在の取り組みについて聞き、小・中・高校生にアンケートをとりました。ひとつの施策として嫌いな食べ物を残さず食べられるようなメニューや調理方法について検討しました。

10. 子どもと一緒にMovingInn!

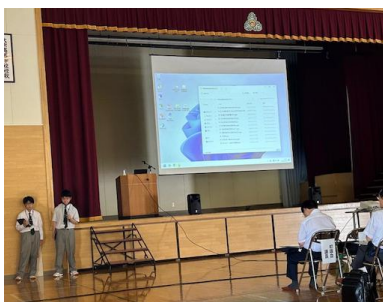
発表者: 岡本 鈴音・佐藤 亮吾・清水 泰成

大樹町の自然を生かした面白いものをつくりたい!というテーマで、町内で自然を生かした宿泊事業を展開している場所を視察させていただき意見交換をしました。自然を生かして子どもが遊ぶ遊具について考え、実現可能性を検証しました。

11. ジェンダー(LGBTQ)への偏見や差別をなくすには?

発表者: 北村 七海・遠藤 花

授業でSDGsについて学ぶ中で、日本の順位が低いジェンダーギャップについて着目し、特にLGBTQのためのパートナーシップ制度等の導入について他町村の事例を調べました。当事者の方へのインタビューや小・中・高校生に意識調査を行い、大樹町の人権擁護委員の方々と意見交換を行いました。

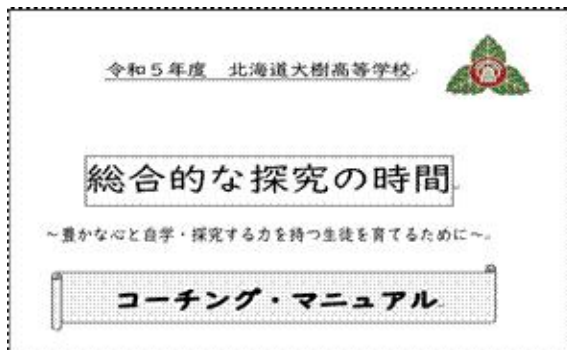


(1) 校内体制の整備

- 地域探究委員会(委員長の教諭、教頭、教務部長、進路指導主任、コーディネーター)を中心とした企画・運営により、一貫性・継続性を担保
 - ・教諭1名が担当する2つ程度のグループを決め進行を見守り
 - ・地域探究委員会と該当学年が、実施前・実施後、打合せを繰り返しながら進行

(2) 教員間での一致した指導方針の元で指導

- コーチングマニュアルの作成・共有
- 発表会をうまくまとめるためではなく、課題を発見する力など育成すべき資質・能力を身に付けさせるために伴走型の支援を実施
 - ・生徒が自発的に探究できる課題発見を重視
 - ・多くの時間をかける必要性



(3) 振り返りの時間の確保

- ICTを使った相互評価や紙のワークシートでの振り返りの蓄積

2 特色ある教育内容⑤ 継続的な教科横断のための工夫

- (1) スクール・ポリシーと結び付けた計画などの作成
- スクール・ポリシーである「共生」「共創」に基づいた「総合的な探究の時間」の計画及びマニュアルの作成
 - 「共生」「共創」に基づいた各教科の単元配列表の作成(教科別、テーマ別)

2023 教科等横断型学習 単元配列表				
テーマ	時 期	国 語	地歴・公民	数
共生社会	1 年生	JICA エッセイ コンテスト (現代の国語)	音楽の歴史 (歴史総合)	
	2 年生			
	3 年生	JICA エッセイ コンテスト (現代文 B)	社会倫理 (倫理)	
地域共創	1 年生		地方政治 (公共)	
	2 年生		地方政治 (政治・経済)	
	3 年生		地方史 (日本史 A)	

学年	月	国 語	地歴・公民	数 学	理 科	進路行事	総合的な探究の時間		探究の軸	LHR	学校行事	保健・体育	音 楽	英 語	家 庭	商業・情報
							キャリア活動	探究活動								
1 年 (基礎)	2～3		課題研究の 方法論の学習	課題学習 (データの分析)	化学が拓く未来		進路活動体験講話 企業説明会		共生社会・ 地域共創		宿泊研修		オススメ曲の紹介 (プレゼン)			
	12～1					進路希望調査 基礎力診断テスト 冬期講習		インターンシップ 報告会			体育大会			ライティング力 の構築	調理実習 食育講座 (グループ活動)	インターンシップ 報告会 発表資料作成
	10～11	リテラス検定 に向けた学習		課題学習 (三角比)			インターンシップ	リテラス検定 IST・JAXA 講座		CST②	生徒総会 合唱祭		合唱祭に向けて	被服実習 ユニバーサル デザイン		
	8～9	読書感想文		課題学習 (2 次関数)		基礎力診断テスト	学校説明会	防災教室			シェイクアウト		合唱祭に向けて	スピーチや会話 の基礎	介護に関する講話 SDG s 学習	
	6～7					夏期講習	高校卒業後の進路			選択科目説明	学校祭					情報を伝える
	4～5	JICA エッセイコ ンテスト		課題学習 (数と式)	科学と人間生活 (プレゼン)	進路希望調査 基礎力診断テスト	自分の適性について 働くことについて			CST①	生徒総会 入学式	集団行動 安全確保		英語による 理解・表現の基礎	家族関係	情報で 問題解決を行う

(1) 新学科に対する町民の誤解が生じたこと

「宇宙に特化した学校になる」「大学進学できなくなる」など、町民の誤解が生じた

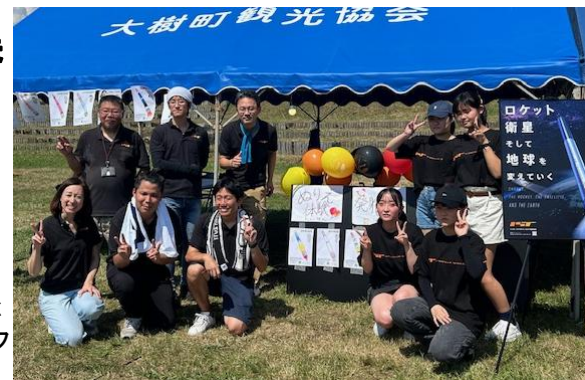
- (対応)○ 道教育委員会、町教育委員会と連携した新学科説明会の実施
- 近隣中学校への説明の繰り返し
 - 学校案内パンフレットの工夫
 - 新聞の折り込み広告などの活用など広報活動の推進

(2) 入学者数の伸び悩み

地元中学校から、通学可能な私立高校への進学者数が増加

- (対応)○ 町と連携して道外からの入学生の募集活動を開始
- 更なる学校の魅力化の推進
 - ・大樹町の資源「宇宙」を活用した活動の場の設置

大樹町清流祭における宇宙の総合インフラ会社インターステラテクノロジーズのブースの手伝い



4 指定終了後の取組の継続について

(1) 取組継続にかかる費用の確保

- 特に、コーディネーターの費用について、学校から道や町への継続的な働きかけ
- 町から道教委への働きかけの継続

(2) 組織的な取組の構築・推進

- これまで培ってきた探究学習の取組が継続・発展するように委員会や分掌を中心とした運営体制の構築
- 普通教科・科目においても探究的な学びなど授業改善が進むよう分掌を中心とした研修会の計画的・継続的な実施
- 本校で働きたい教員の確保
 - ・道教委の教員に関するマッチング事業の活用
 - ・働きやすく、やりがいを感じられる職場づくり

(3) 町との連携の継続・発展

- 大樹町活性化推進協議会ワーキンググループを中心とした連携